

大切な写真プリントが水や泥をかぶって汚れてしまった場合の対応方法

このたびの東北地方太平洋沖地震により犠牲になられた方とご遺族にお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

皆様の大切な写真が水に濡れたり泥をかぶってしまった場合の対処法をご紹介します。
写真に水や泥がかぶってしまった場合、汚れの程度、破損状態によって対応方法は異なります。以下に紹介する一般的な対応方法を参考に、まず一度、写真プリントの隅を使って、汚れ落ちの効果や、破損の度合い等を確認して頂いた上で、注意して対応を行って頂くようにお願いします。

※「インクジェット方式」のプリントには対応していませんのでご注意ください。

■ 銀塩写真プリントの場合

写真店などでご注文頂いた、裏面に「DNP CENTURIA」などのロゴマークが入った銀塩写真プリントの方法です。

1. アルバムに入れずに保管されたプリントの場合

くっついてしまった場合も、無理に剥がそうとせず、一回軽く洗浄します。
その後、約 20℃～30℃のぬるま湯に 30 分程度浸します。
プリント表面を傷つけないように十分注意しながら、指で軽くこすって汚れを落とします。
くっついたプリントは、角の部分からゆっくりと剥がします。剥がれない場合は無理に剥がそうとせず、もう暫くお湯に浸け、くっついたプリントが自然に剥がれるようになるのを待つようにして下さい。
洗浄後、プリントの端をつまみ、室内等につるして乾燥させて下さい。

2. アルバムに入れて保管されたプリントの場合

アルバムの台紙やビニールのカバーから、プリントを無理に剥がさず、そのまま一回軽く洗浄します。
その後、アルバムの台紙ごと、約 20℃～30℃のぬるま湯に 30 分程度浸します。
プリント表面を傷つけないように十分注意しながら洗浄し、プリントを台紙やビニールのカバーからゆっくり剥がします。
剥がれない場合は無理に剥がそうとせず、もう暫くお湯に浸け、プリントが自然に剥がれるようになるのを待つようにして下さい。
洗浄後、プリントの端をつまみ、室内等につるして乾燥させて下さい。

■ 昇華プリントの場合

お店の店頭などに置かれたセルフプリント機等でプリントされた、裏面に「DNP PrintRush」や「DNP FOTOLUSIO」のロゴマークが入ったプリントの場合です。

昇華プリントは、重ねて保管された場合でも、プリントどうしが強くくっつくことはありません。アルバムで保管された場合は、注意してそと、プリントを台紙やビニールカバーから剥がして下さい。
その上で、固く絞った布かウェットティッシュなどで、プリント表面を気を付けて丁寧に拭いて、汚れを落として下さい。

DNPフオルシオは、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。